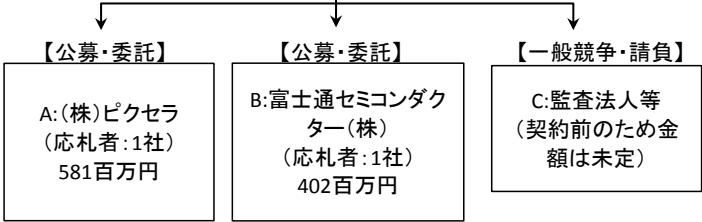


行政事業レビューシート (総務省)

予算事業名	マルチバンドISDB-Tシステム研究開発	事業開始年度	21年度	作成責任者		
担当部署	総務省	担当課室	放送技術課	課長 田中 宏		
会計区分	一般会計	上位政策	情報通信国際戦略推進費			
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	総務省設置法第四条第七十五号	関係する計 画、通知等	明日の安心と成長のための緊急経済対策 (平成21年度補正予算(第2号))			
事業の目的 (目指す姿を簡 潔に。3行程度 以内)	諸外国等へのISDB-T採用働きかけの結果、ここ数ヶ月間で南米を中心に急速に採用が進んでいる一方、日本や南米諸国とは使用するチャンネル幅の異なる国がISDB-Tに関心を示していることに鑑み、これらの国々に対して働きかけを行うことができるよう異なる全てのチャンネル幅に対応できるISDB-Tシステムに関する開発を実施。					
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	<p>これまで南米を中心にISDB-Tの採用・普及が進んでいるところであり、今後、さらなるISDB-Tの普及促進のためには、1チャンネル当たりの周波数幅が日本や南米等とは異なるアフリカ・アジア諸国等への展開が必要であることから、以下の研究開発を実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> 異なる全てのチャンネル幅に対応するシステムの実現に資する研究開発 当該技術を搭載した各コンポーネントの試作・検証 全てのチャンネル幅に対応するコンポーネントで構成されるISDB-Tシステムによる放送ネットワークの検証 					
実施状況	4月に契約が完了し、研究開発に着手。					
予算の状況 (単位:百万円)		19年度	20年度	21年度	22年度	23年度要求
	予算額(補正後)	-	-	998	(998:繰越)	0
	執行額	-	-	0		
	執行率	-	-	0		
	総事業費(執行ベース)	-	-	0		
自己点検	支出先・用途の把握水準・状況	<ul style="list-style-type: none"> 適切な執行(2社以上の見積取得等)に基づく支出を行うよう指示。 日頃より支出に当たって不明な点があれば相談するよう指示。 				
	見直しの余地	契約締結後1か月程度が経過したところであり、指示に基づき、委託先において契約等を実施しており、特段不都合は生じていない。				
予算監視の効率	廃止 (21年度で廃止)					
補記	・21年度2次補正予算額(998百万円)は、全額、翌22年度に繰越の上、現在、執行中。					

総務省
998百万円



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
しているかについて補足する)
(単位:百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。使途と費目の
 双方で実情が分かるように
 記載)

A.(株)ピクセラ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	消耗品・借料等	44			
人件費	研究者の人件費	52			
その他	作業一部請負、旅費等	407			
一般管理費	一般管理費	50			
消費税	5%	28			
計		581	計		0
B. 富士通セミコンダクター(株)			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品費	消耗品・借料等	48			
人件費	研究者の人件費	86			
その他	作業一部請負、旅費等	214			
一般管理費	一般管理費	35			
消費税	5%	19			
計		402	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
契約前のため未 定	契約前のため未定				
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

地上デジタル放送緊急対策事業(マルチバンド ISDB-T システムの研究開発)

諸外国等への ISDB-T 採用働きかけの結果、ここ数ヵ月間で南米を中心に急速に採用が進んでいる一方、日本や南米諸国とは使用するチャンネル幅の異なる国が ISDB-T に関心を示していることに鑑み、これらの国々に対して働きかけを行うことができるよう異なる全てのチャンネル幅に対応できる ISDB-T システムに関する開発を実施。

1 施策の概要

- (1) これまで南米・フィリピンを中心に ISDB-T の普及活動を進めてきており、ISDB-T の採用・普及が進んでいるところ。
- (2) 今後、さらなる ISDB-T の普及を進めるためには、1 チャンネル当たりの周波数幅が日本や南米等とは異なるアフリカ・アジア諸国等への展開が必要であることから、以下の研究開発を実施。
 - ・異なる全てのチャンネル幅に対応するシステムの実現に資する研究開発
 - ・当該技術を搭載した各コンポーネントの試作・検証
 - ・全てのチャンネル幅に対応するコンポーネントで構成される ISDB-T システムによる放送ネットワークの検証

2 イメージ図

